



# R6年度 福祉防災ボランティア研修会

報告

1月19日(日)地域福祉センターにて、「福祉防災ボランティア研修会」を開催しました。

当日は2部制で行い、第1部では令和5年6月に和歌山にも大きな被害をもたらした線状降水帯による豪雨災害で災害ボランティアセンターを立ち上げ、運営をされたかつらぎ町社協の山本幸則局長にご講演頂き、第2部では能登半島地震で支援活動をされた北村弘幸民生委員さん、天理教災害救援ひのきしん隊田中理一郎さん、山本局長によるリレートークを行い、皆さんの体験談や感じたこと、支援活動に対する想いを聞かせて頂き、本研修の目的である「つながり」「ささえあい」の重要性を改めて感じさせられる研修会となりました。



## 第1部 講義

「かつらぎ町における災害支援について」



## 第2部 リレートーク

「被災地での災害ボランティア活動を通して」



## 参加していただいた皆さまからのお声

- ・人とのつながりが大切だと思いました。
- ・他人事ではなく、被災・発災時の想像力をもっと身につけないと思った。
- ・身近な事から防災についても一度考えてみようと思いました。
- ・今回の研修を経て、自分は高齢で体はあまり動かないですが、体を使わなくても何か少しでも役に立てるよう考えたい。寄付(金品、防災道具、日用品)等。
- ・湯浅町にも外国の方が住んでいますがこれらの方々への対策はどうか？
- ・もう少し若い世代を対象とした研修もしてほしいです。
- ・去年行ったボランティアセンター運営訓練を続けてほしい。
- ・実践的な防災研修があればうれしいです。

多くの貴重なご意見、誠にありがとうございました。

安心・安全なまちづくりのため、今後とも皆さまのご協力よろしくお願いたします。

